

## 港町ミュージアム 8 学習指導案



- 1 場所：教室
- 2 題材名：海をみつめて
- 3 題材について

学習指導要領における第3学年及び第4学年の内容のB鑑賞には「(1)作品などのよさやおもしろさなどに関心をもって見るようにする。」とあり、さらに「自分たちの作品のよさや面白さなどについていろいろな表し方や材料による感じ方の違いなどが分かり、関心をもってみること」とある。このことは、自分の表現活動の経験をもとに、鑑賞作品の表し方の違いや材料の形や色などの感じの違い、また、自分が好きな色の感じも含め、それらに関心をもって見るようにすること、それら(表し方や色、形)に対する感覚を高めることを示している。さらにそのことが児童自身の表現活動の幅を広げることにもなると考える。

指導に当たっては4点の作品がいずれも海をモチーフとした作品であることを知らせた上で、それぞれの作品のよいところや違いをしっかりと話し合わせたい。そのことを通して、同じモチーフやテーマの作品でも、さまざまな表現方法があることや鑑賞者によっていろいろな感じ方や見方があることに気づかせ鑑賞を深めさせたい。また、作品名を考えさせることで自分の見方や感じ方を言葉で表す力を身につけさせたい。

### 海をモチーフとした鑑賞作品

作品名	作者	表現方法	鑑賞のポイント
海(広島県立美術館所蔵)	曙光	1943(昭和18)年 油彩画	赤や黄、黄緑、白など多彩な色と大胆な筆使い
隠岐の海(広島県立美術館所蔵)	速水御舟	1914(大正4)年 絹・彩色・軸装	鳥瞰的な視点、重ね塗り、生活に溶け込んでいる海、海が大部分を占める構図
海の記録(広島県立美術館所蔵)	木村武男	1967(昭和42)年油彩画	大胆な構成、色使い、躍動感。画面に描かれているものから自由な見方が楽しめる。海というテーマを児童に与えても尚、想像を広げられる余地が十分ある。

- 4 学習目標
  - ・ 同じモチーフにして描かれた作品を鑑賞して、いろいろな表現方法を見ることを楽しむ。
- 5 学習の展開

学習活動	指導上の留意事項( ) (「努力を要する」と判断した児童への指導の手だて)	評価規準 (評価方法)	準備物等
1 海をモチーフにした作品を鑑賞して話し合う。 海を描いた作品を見よう。 ・ 4点の内、自分が気に入った作品のよいところや気に入った理由をカードに書く。 ・ 作品を鑑賞して考えたこと。 ・ 友だちの見方や感じ方を聞き意見を交換する。	鑑賞作品が海をモチーフにした作品であることを知らせ、表現方法の違いを鑑賞させる。 ・ 色や構図や表現技法の違い ・ 何を表現したかったのか ・ 見た時の印象など ◆ 好きな作品について色使いや構図、思い浮かぶ物語などを考えればよいことをアドバイスする。 見方・感じ方を発表させることを通してお互いの感じ方の違いにも気づかせる。	海をモチーフにした作品を興味・関心を持って鑑賞しようとする。 [造形への関心・意欲・態度][行動観察] 作品による表し方の違いやよさを感じ取る。[造形への関心・意欲・態度][鑑賞の能力](発表)(鑑賞カード)	作品の複製 鑑賞カード
2 本時のまとめをする。 ・ 好きな作品に自分なりのタイトルをつける。	自分なりの見方や感じ方が伝わるタイトルになるように工夫させる。 ◆ 「海」という言葉を作品名に入れると考えやすいことをアドバイスする。		

木村武男  
「海の記録」

港町ミュージアム  
**見よう!感じよう!**  
～すてきなアート～

年 組 [                      ]

Part 10

## 海を見つめて

速水御舟  
「隠岐の海」



海をモチーフにした児童作品や教科書掲載作品など